

案件概要書

2019 年 2 月 26 日

1. 基本情報

- (1) 国名：バングラデシュ人民共和国（以下、「バングラデシュ」という。）
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：バングラデシュ全土
- (3) 案件名：フードバリューチェーン強化計画（Food Value Chain Improvement Project）
- (4) 計画の要約：

本計画は、バングラデシュの農業・食品加工企業向けに設備投資・運転に必要な資金の供給及び経営管理や食品安全性向上に係る技術支援を行い、また、金融機関に対する審査能力向上等に係る支援を行うことにより、農業・食品加工企業の金融アクセスの改善及び農産物の高付加価値化を推進し、もって同国の農産物バリューチェーンの強化を図るもの。

2. 計画の背景と必要性

- (1) 本計画を実施する外交的意義

伝統的な親日国であるバングラデシュは、民主主義の定着に努める穏健なイスラムの民主主義国であり、近年 7 % 程度の堅調な経済成長を遂げており、進出する日本企業数も増加している（過去 7 年間で約 3 倍）。他方、同国はインフラの未整備や社会開発の遅れといった課題を抱えており、同国の社会・経済の発展及び安定につながる本件支援は、本邦企業の活動促進や地域の平和と安定にとって重要である。

2014 年の日・バングラデシュ首脳会談では、両首脳間で、経済インフラの開発、投資環境の改善、連結性の向上を柱とする「ベンガル湾産業成長地帯（BIG-B）」構想を推進することで合意。本計画は、バングラデシュ経済において依然として大部分を占めるが発展途上である農業・食品加工分野における企業への支援を通じて、同分野の投資環境改善に寄与する案件であり、首脳会談のフォローアップとして重要である。また、本調査の際に実施を検討しているバングラデシュ農業関連企業と日本の機器製造企業のマッチングを通じて、日本企業のバングラデシュ進出促進への貢献も期待できる。

- (2) 当該国における農業開発セクターの現状・課題及び本計画の位置付け

同国の可耕地は都市化の進展により年々減少傾向にあり、生産性の向上や農産物及び加工品の高付加価値化が急務である。また、中間所得層の増加に伴い、多様な食品への需要が増大している。しかし、冷蔵施設等の保管施設、加工設備の不足により、農産物のポストハーベストロス率は 30-40% と高い。また、未成熟な事業計画等の企業側要因、高い貸付金利や煩雑な融資申請手続き等の金融機関側の要因により、企業の約 6 割は資金需要を満たせていない。その結果、設備投資が促進されず農産物や加工品の高付加価値化が進展していない。

同国政府の「第 7 次 5 ヶ年計画」（2016/17-2021/22 年度）は農業の商業化の促進、食品安全を含む高付加価値化のための民間セクターとの連携、農産品加工の促進等に取り組むとしており、「国家産業政策 2016」では産業振興を図るべき最優先

分野として食品加工業を挙げている。対バングラデシュ国別開発協力方針（2018年2月）は「社会脆弱性の克服」を重点分野として掲げ、農村部の生活環境改善・生計向上に資する協力を行うとしており、また、対バングラデシュ JICA 国別分析ペーパー（2014年5月）では、農産物多様化のため支援を重点としており、本計画はこれらの方針・分析に合致する。

3. 計画概要

(1) 計画概要

① 計画内容

ア) ツー・ステップ・ローン（バングラデシュ全土を対象）

イ) コンサルティング・サービス（ツー・ステップ・ローン資金管理，金融機関向け審査能力向上支援，企業向け経営管理・食品安全に係る技術支援，環境社会配慮）

② 期待される開発効果

農業・食品加工企業の設備投資に向けた金融アクセスの向上及びそれを通じた製造加工品の品質向上、食品の安全性向上、ポストハーベストロス（現状30～40%程度）の減少等，農産物の高付加価値化を通じたフードバリューチェーン全体の強化が期待される。詳細は協力準備調査で確認する。

③ 借入人：バングラデシュ政府

④ 計画実施機関／実施体制：事業実施機関は財務省。財務省の監督の下，ツー・ステップ・ローンを行う金融機関としてバングラデシュインフラ融資基金（Bangladesh Infrastructure Finance Fund Limited: BIFFL）等を本調査にて検討。関係省庁は首相府，農業省，産業省，食品安全庁であり，今後これらの役割を検討する。

⑤ 他機関との連携・役割分担：USAID 等他援助機関や NGO との連携・役割分担について本調査で検討する。

⑥ 運営／維持管理体制：首相府，農業省，産業省，食品安全庁，BIFFL。詳細は本調査にて確認する。

(2) その他特記事項

- 世界銀行は，製造業及びアグリビジネス零細企業を対象に，マイクロファイナンス機関を通じた小規模融資及び技術支援の実施を決定。また畜産農家の生産性向上やマーケットとの連結性強化に向けた支援を実施予定。
- ADB は，同国食品加工業最大手企業等，大企業を対象とした支援や，灌漑設備の整備と水利組合による維持管理，地方部の市場整備等，農業インフラ整備を通じたバリューチェーン強化を支援中。
- 食品包装業では日本製機器のニーズが一定程度確認されており，本調査の中で日本製機器の導入可能性について検討する。また本調査期間中に同国食品加工企業と日本の機器製造企業をマッチング促進も検討予定。さらに食品加工工場の製造ラインや経営管理ツールとして 5S を技術支援に含めることも検討。
- 環境社会配慮：本計画は，JICA の融資承諾前にサブ・プロジェクトが特定できないため，カテゴリ FI に分類する。

- ジェンダー分類は、GI（ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件）に該当し、協力準備調査にてジェンダー主流化ニーズを確認する。

4. 過去の類似案件の教訓と本計画への適用

インド共和国向け円借款「中小零細企業省エネ支援事業フェーズ 2」の事後評価等では、円滑な実施及び目標達成の背景に、借り手側の需要喚起や金融機関の案件審査能力向上に向けた企業向けセミナーや融資審査支援等の技術支援があるとしている。本事業でも、ツー・ステップ・ローンに併せ、金融機関向けの審査能力強化等に関する技術支援を行うことを検討する。

以 上

[別添資料] 地図

フードバリューチェーン強化事業 地図
(バングラデシュ全土)



出典：テキサス大学 (https://legacy.lib.utexas.edu/maps/cia98/bangladesh_sm98.jpg)